

様式第5号（第10条関係）

パブリックコメント実施結果報告書
【案件名：つくば市地球温暖化対策実行計画
（区域施策編）】

令和2年（2020年）3月
つくば市生活環境部環境政策課

■ 意見集計結果

令和2年1月8日から2月7日までの間、つくば市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(案)について、意見募集を行った結果、3人(団体を含む。)から10件の意見の提出がありました。これらの意見について、適宜要約した上、項目ごとに整理し、それに対する市の考え方をまとめましたので、公表します。

提出方法別の人数は、以下のとおりです。

提出方法	人数(団体を含む。)
直接持参	1人
郵便	0人
電子メール	0人
ファクシミリ	0人
電子申請	2人
合計	3人

■ 意見の概要及び意見に対する市の考え方

○ 4-2 取組内容(1) 各主体による低炭素化の推進 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	温室効果ガス排出の大きな要因の一つである工場に対しての排出制限に取り組む必要がある。	1件	温室効果ガスの排出制限については、環境面のみならず、経済、社会面に関係する施策であることから、施策3に記載しましたとおり、国や県の制度を活用して、温室効果ガス排出量が多い事業者とコミュニケーションを図り、連携の可能性を検討します。

○ 4-2 取組内容 (2) 低炭素なまちづくりの推進 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	<p>再生可能エネルギー設備等を効率的に市域で使用するためには、電力やガス、熱の融通を念頭に置いてスマートグリッド構築を検討する必要がある。</p> <p>構築に当たっては、LCAや将来的な継続性を考慮して、自治体が主導的に「まちづくり」として進めることが望ましい。また、第3者の意見を取り入れた上で、発電電、効率を総合的に考慮した抜本的なエネルギーシステムの改革に期待する。</p>	1 件	<p>スマートグリッドをはじめとした分散型のエネルギーインフラの構築は、市域の面的な低炭素化を進めるために効果的な手段の1つと考えており、これまでも関係各部署や民間事業者との検討を行っております。御意見を参考にして、今後も継続的に検討を行います。</p>
2	<p>「ハブアンドスポーク型都市構造」は、研究学園都市地域と沿線開発地域をつくば市の核（ハブ）機能として集約するものである。</p> <p>今後の再開発等で地産地消エネルギー活用の推進を図り、大規模災害への備えを行うことにより、都市機能の充実強化が必要である。そのため、「低炭素なまちづくり」に「地産地消エネルギーを活用した環境にやさしいまちづくり」と「災害に強いまちづくり」の概念を盛り込み、都市の低炭素化と都市防災機能の向上とをあわせて推進して欲しい。</p>	1 件	<p>御意見でいただきました「地産地消エネルギーを活用した環境にやさしいまちづくり」と「災害に強いまちづくり」の概念は、P16 の将来像に直接的に反映しており、全体に反映させています。</p> <p>今後も多様な事業者と連携し調査・検討を進めます。</p>

3	太陽光エネルギーを取り込み、つくば市全体のエネルギー消費が賄える程度は、市が積極的に行動してほしい。ただし、各家庭にも積極的にソーラーパネルや省エネの取組を進めてもらいたい。	1件	今後も各家庭や事業所に対して、再エネや蓄電池等の導入に対する補助の実施や省エネの取組の支援を推進することで、エネルギーの地産地消を図って参ります。
---	---	----	---

○ 4-2 取組内容 (3) 低炭素なモビリティの普及促進 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	交通の低炭素化には、EV充電設備や水素燃料の確保と供給が必要であり、課題でもある。	1件	つくば市では、市域のEV充電設備の設置状況を考慮して、EV充電設備を設置しています。また、水素燃料の供給については市内で移動式水素ステーションを稼働させております。これらのエネルギーの供給に関する課題については、頂戴した御意見を参考にして引き続き情勢を考慮して対応します。
2	市で提唱している「ハブ&スポーク型都市構造」について、啓蒙活動程度の記載であり不十分である。交通の低炭素化には、本来まちの設計見直しが必要。変革には、ガソリン車の市街地への進入禁止や路面電車網の整備など極端な施策についても検討が必要である。 自動車社会であるつくば市こそが技術革新により変革できる潜在能力があると考えます。	1件	「ハブ&スポーク型都市構造」実現には、まちの設計から取組が必要です。 つくば市未来構想のもとにまちづくりを進めるとともに、第3次環境基本計画の将来像を実現させるために、連携して取り組みます。

3	自転車の利用促進については、これまでの施策に非常に疑問を感じる。	1件	自転車利用の促進については、走行環境の整備や安全利用、環境負荷軽減など多面的な施策により取り組むこととしています。
---	----------------------------------	----	---

○ 4-2 取組内容 (4)持続可能なライフスタイルの推進 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	廃棄物処理では、マテリアルリサイクルとケミカルリサイクル、サーマルリサイクルが重要であるが、現在記載されている内容では、自治体としては啓蒙活動のみの実施に見える。自治体しか実施できないインフラ強化や事業者誘致など具体的な施策が見えない。	1件	つくば市では、施策12に記載しましたとおり、焼却処理時の熱エネルギーによる発電及びその余熱利用を行っています。 また、家庭用廃食油のバイオディーゼル燃料化やプラスチック製容器包装の分別回収を始めています。 今後もインフラの維持・強化に努めます。
2	つくばウェルネスパークなどの温浴施設は利便性の向上につながるが、エネルギー削減や環境負荷低減にはつながらないと思う。	1件	つくばウェルネスパークの温浴施設、温水プール等は隣接するごみ焼却施設からの余熱を利用して温めており、環境に配慮した施設になっております。

○ 4-2 取組内容 (6) 気候変動へ適応する について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	直近の台風被害で発生した停電被害を始めとしたエネルギー供給途断リスクを回避・緩和するために、都市ガス等による常用分散発電の推進といった、エネルギー供給源の多様化・多重化を提案します。	1 件	<p>エネルギーの多様化・多重化は我が国における重要なエネルギー施策であり、上位計画である「第3次つくば市環境基本計画」においても重点施策の中でその概念を取り入れています。</p> <p>頂戴しました御意見のとおり公共施設の改修には、地球温暖化対策のみならず、災害によるエネルギー供給途絶リスクなど多面的な評価を行い、施策を進めます。</p> <p>また、家庭や事業者等に対しては、引き続き再エネや蓄電池等の導入を促進し、地域の電源確保に努めて参ります。</p>

■ 修正の内容

○ その他 について

修正前	修正後
パブリックコメントでいただいた意見ではありませんが、P34 が空白ページとなっていましたので、削除します。	空白ページを削除し、以降のページ番号を修正しました。

○ その他 について

修正前	修正後
パブリックコメントでいただいた意見ではありませんが、P60 の参照先に記載の誤りがありましたので修正します。	

（「5. 低炭素な建物の普及促進」参照）	（「5. 再生可能エネルギー等の導入支援」参照）
----------------------	--------------------------

○ その他 について

修正前	修正後
パブリックコメントでいただいた意見ではありませんが、P78 策定懇話会名簿の記載順を下表のとおり修正します。	

表 つくば市地球温暖化対策（区域施策編）策定懇話会名簿

所属（役職）	備考
鈴木 石根（座長）	国立大学法人 筑波大学
松橋 啓介（副座長）	国立研究開発法人 国立環境研究所
飯野 哲雄	つくば市 副市長
石川 幸子	市民
大橋 拓	市民
嘉成 康弘	茨城県 県民生活環境部環境政策課（～2019年3月）
河尻 耕太郎	国立研究開発法人 産業技術総合研究所
佐久間 東陽	市民
野口 智子	茨城県 県民生活環境部環境政策課（2019年4月～）
文珠四郎 秀昭	大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構
山内 一夫	関彰商事株式会社
柚山 義人	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

（座長、副座長以降は五十音順）